

やくしの里だよい

No. 364
2025.01.15 発行

医・岡谷会 介護老人保健施設
やくしの里
やくしの里広報委員会発行



初詣の風景 [2階]



やくしの里でのお正月です。
おせちにお雑煮を食べて、まずは初詣に。
お天気に恵まれ、例年よりも少しだけ
暖かかったお正月、ご近所にある鏡神
社にお参りをしました。
道中の景色に冬を感じながら、
明るい声でおしゃべりがはずみます。



十津川、山から温泉の流れるところの生まれです。6人きょうだいの下から

2番目。お父さんは素晴らしい大工さんでした。母は美人で、働き者。私も子どもの頃から母のお手伝いを全部していました。遊ぶ時間なかった。お水も全部担いでね。14歳でお医者さんの家に奉公に出て、そこへ藁をもらいに来て

た人から申し込まれて結婚しました。だんなさんは早くに亡くなつたから、子ども2人育てて、家も建てました。

1月生まれ

片桐で生まれて、
今も片桐です。

5人きょうだいの真ん中。
兄貴によく怒られて、けんか
してました。(勝つですか?
負けるですか?) 私が負け
ますね。わたしはやんちゃで
したよ。学校卒業してからは、

お父さんええ人でしたけどね。
けんかばっかりしていました。



2月生まれ

3階うるおい委員会企画 紅葉狩り

お正月の恒例行事『初詣』は感染の状況を考慮し、中止となってしまいました。フロアの活動は徐々に再開しつつあります。
こちらは11月に行われた紅葉狩りのご様子です。

秋も深まりつつある11月。これまで外出もままならず、フロア内から出る機会もほとんどない状態でしたが、紅葉狩りを11月中に2回実施することができました。行った先は紅葉の名所として知られる正暦寺！ワゴン車2台に13～14名の利用者が分乗し、山中を走ります。車窓から、見える紅葉は見頃には少し早かったのですが、それでも車窓から見える紅葉だけでなく、外の景色に会話もはずみます。

施設内では、なかなか感じられない季節感を味わってもらえたと思っています。



昭和21年1月1日という大変おめでたい日に天理市で出生されました。

その後も天理市に住まわれ、農業をされてこられたそうです。

それだけでなく、多趣味なよう切り絵や、書道、園芸なども嗜まれ、それらのボランティア活動をしていましたこともあったそうです。

フロア内では穏やかにすごされています。

1月生まれ



昭和9年2月

13日、奈良県生まれの奈良育ち。今年で91歳になられます。

以前は電気店を営まれており、その傍らで町内の自治会長やPTAの会長も務めてこられてきたそうです。フロアでは静かにすごされていますが、大きな存在感があり、皆から愛されています。

2月生まれ

